

若手カメラマンの皆さん! 私を助けてくださ〜い!

改めて、いつも本紙AROMAをご愛読いただきありがとうございます。編集長のSです。

突然ですが、私困ってます。取材の時カメラマン兼任のため、取材と撮影を同時に行なえませ〜ん…。ですので、団体さんの自然な写真が撮れなくて困ってるんですよあ〜…(涙)

そこで、取材にご同行いただける「カメラマンのタマゴ」を募集したいと思っています!

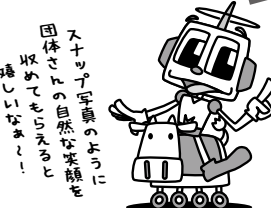
※謝礼はありませんが、本紙を発表の場と考えていただければ幸いです。

【内容】取材時にカメラマンとしてご同行いただき、主に取材風景を撮っていただきます。また、事業開催時の記録写真などを願います。

【定員】登録制とし、今回は5名までの募集といたします。*取材は不定期です。ご登録いただいた方の中から、ご都合の合う方などをお願いしたいと思いますので、お気軽にご応募ください。

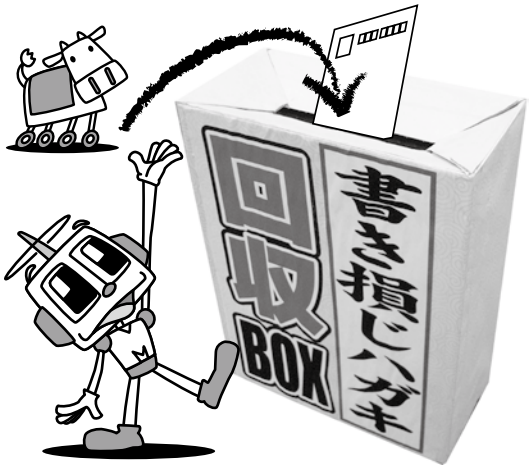
【応募資格】若者に市民活動への理解と関心を持ってらうため15歳〜25歳くらいまでの「カメラマンのタマゴ」を募集します。ただし、全くの初心者ではなく、写真部の学生やカメラを趣味にしている方など、ある程度の知識、技術をお持ちの方に限ります。*カメラはデジカメ限定といたします。

【申込方法】メールにてご応募ください。件名を「カメラマン申込」とし、本文に「お名前」、「ご連絡先」、「対応いただける曜日や時間帯など」をご記入の上、下記までお送りください。katsudou@ma.mctv.ne.jp (担当/澤)



「書き損じハガキ」集めてます!

宛名を書きまちがえてしまい、投函できずに捨てようとしていたハガキや、表面すでに印刷してしまい、余ってしまった年賀ハガキ、暑中見舞いハガキなどはありませんか? 当センターでは、消印のない「書き損じハガキ」を集めています。これらのハガキは郵便局で手数料を引かれ、新しいハガキと交換されます。これを換金し、書籍の森の更なる充実や、会議に役立つ備品拡充に活かします。使えなくなったハガキを「捨てる」のではなく、次に「活かす」ことで、市民活動やボランティアの人たちのサポートにつながります。お手持ちの書き損じハガキは、当センターに設置された「書き損じハガキ回収BOX」に投函してくださいね。あなたのご協力お待ちしております。



ブンカの交流館 ニュース

冬期講座受講生募集中

いよいよブンカの交流館「冬期」の受講生募集が始まりました。

駅前商店街ベルタウン2階の空き店舗を利用した「まちづくり型カルチャースクール」として今年7月より、「夏期」「秋期」と開催してまいりましたブンカの交流館ですが、これまでに282名の方々が受講いただいており、駅前に新たな文化の発信場所を作り出そうとしております。

1月から始まります冬期の講座は31講座で、以前から好評の講座に加え、新たに「タイ語、フランス語、企画術、フォークギター、ベジエ曲線」などの6つの新規講座が開催予定です。またこの冬期講座では、タイ語講座、フランス語講座の無料体験も実施する予定です。

詳しくは、ホームページをチェックしていただくか、事務局までお問い合わせください。まちづくり型カルチャースクール「ブンカの交流館」はベルタウン2階で開催中です。皆さんのお申し込みを、お待ちしております。

お申し込み お問い合わせ TEL 0598-23-8400 Mail bunka@m-bridge.jp 担当/濱田

講座の詳しいご案内はホームページからもご覧頂けます。 http://www.m-bridge.jp/bunka/index.html



書籍の森

担当者の「私信」を元に本を紹介する。本当は「キラリと光る週末を過ごしたい!」あなたへ〜週末の使い方を考える〜今年も残り少なくなって参りました。ご無事に年を越せそうですか? 新しい年の手帳、もう手に入れましたか? 私、今年の手帳を眺めていて思わず「あらら」と嘆いてしまいました。平日の欄が真っ黒なのに比べ、週末(休日)は空欄が並んでいます。「この日に何をしていたか?」と記憶を辿るも、意識的に行動した回数の少ないこと。先行き不透明と言われる時代だからこそ、来年は週末を「電池切れの日」から「未来への投資の日」に変えたいなあと。今回は「週末の使い方を考える」方におすすめの書籍をご紹介します。【H】

【週末起業】著/藤井考一 休日を利用してローリスクで「起業」しようという本書。「こんな時代」を生き抜くために、「雇われる発想」から「仕事をつくる発想」へと無理なく導いてくれる1冊です。起業なんて考えたこともないよという人や、「できること」で活動資金を生み出す方法を知りたいNPOにも役立つそうです。

【刺激な! 週末50計画「スカウト」】発行/リクルート 2年前に発行された雑誌ですが、内容の鮮度は◎。「週末通訳ガイド」や「週末農業」、「週末異業種交流会」に「週末大道芸人」など。週末を楽しみながら、誰かの役に立ったり、自分を高めたい人のヒントとなる1冊。写真付きで50種の「週末計画」が紹介されているので、イメージしやすいです。

本紙ご登録のみなさまへ センターからのお知らせ ◎センター年末年始休館のお知らせ 年末年始は下記の日程で休館とさせていただきます。 2008年12月30日(火)~2009年1月4日(日) ※会議室利用のご予約も出来ませんので、予めご了承ください。

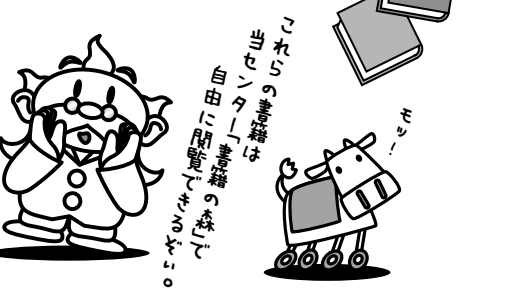
AROMA

松阪市市民活動センター ホームページ http://www.katsudou.com

会議室 大会議室...机10 椅子30 (600円) 小会議室1...机4 椅子12 (150円) 小会議室2...机6 椅子18 (200円) 小会議室3...机4 椅子12 (150円) 外会議室...机8 椅子24 (400円) 機材等 印刷機(紙持込) / コピー機 マイク / プロジェクター 他 会議室・機材等はセンターに団体登録することで利用可能です。 利用申込 申請書類は窓口でご記入いただくか お電話にて予約後、ご提出ください。

松阪市市民活動センター ホームページ http://www.katsudou.com 市民活動情報サイト (登録団体の情報、会議室の空き情報) http://genki365.net/gnkn/customer/matsusaka/

松阪発信!! 市民活動の情報紙〜 AROMA 第 20 号



文字と文字の間隙を縫う……チラッと編集後記 皆さんは「漢字」の読み書きに自信はありますか? 突然何かと言いますと、先日フアシリター養成講座の助手をさせていただく機会があったのですが、板書する際、簡単な漢字が出て来ない…。日頃、自分がいかに文字を書いていないかを痛感しました。この文章もパソコン任せの変換キー任せ。お菓子的な文字に鳴ってたらお許しください。←注:「あかな文字になってたらお許しください」をそのまま変換したらこうなりました。【S】

次回発行は2009年2月中旬頃です。 募集・イベント・事業案内など、共有したい情報をお持ちの方は、「アロマ掲載希望」の件名で「タイトル・趣旨・内容・日時・場所・問合せ先」などをご記入の上、松阪市市民活動センターまで E-mail かFAXにて送付してください。 次回原稿締切は2009年1月31日(土)です。



AROMA No.20

松阪発信!! 市民活動の情報紙〜アロマ

【アタック! 高見山実行委員会】さんです 澄みきった青空の広がった10月の第3日曜、スポーツの秋を満喫できるイベント「第3回アタック! 高見山」が飯高町で開催された。往復約80kmのサイクリングと1時間程の登山をミックスさせた全国的に見ても珍しいイベントだ。「このイベントを定着させて、飯高町の魅力を多くの人に伝えたいですね」と熱く語るの、アタック! 高見山実行委員会の代表、花本秀樹さん。飯高町在住ではない花本さんが、この地を活動の拠点とした理由は「自分の気に入ったフィールドでアクションを起こしたい」という想いからだ。166号線や高見山登山口までの峠道は、趣味である自転車の練習コースとして親しんだ場所。幾度となく足を運んでいるうちに、すっかり飯高町の魅力に取りつかれ、「この魅力を知ってもらいたい」という想いを抱くようになる。この頃すでに、漠然とはあるが、イベントの構想はあった。花本さんはこの想いを、飯高地域振興局から紹介された地元の有志に切々と話した。その有志から様々なアドバイスや協力を受け、漠然とした構想はいっきに現実へと加速し、アタック! 高見山というスポーツイベントが誕生したのだ。

このイベントの趣旨は「タイムを競うこと」ではなく「土地の魅力を伝えること」だ。イベント後の疲れを癒してもらうため参加費には温泉券と昼食券のセットが含まれる。これは、このイベントの自転車コースになっている国道166号線沿いの道の駅、飯高駅の特色である「温泉」を活かしたいという想いからだ。他にも、地元の果物や、手づくりパンの店の商品を購入し、エイドステーション(※1)に並べるなど、「この土地らしさ」を随所に盛り込んでいる。「参加した方がリピーターとして、イベント以外でもこのまちに足を運んでほしいですからね」と話す花本さん。商品を提供した地元のお店では、後日この地域を訪れた参加者から「イベントで食べたパンがおいしくて買いました」と声をかけられることもあるという。こうした嬉しいエピソードがあるように、花本さんの想いは、このイベントに関わった人たちに確かに伝わっているようだ。

アタック! 高見山実行委員会 代表の花本秀樹さん

は、秋のこのイベント以外にもスポーツイベントを企画中だという。今後も、前向きで行動力のある花本さん達の「まちを元気にする」活動に注目したい。

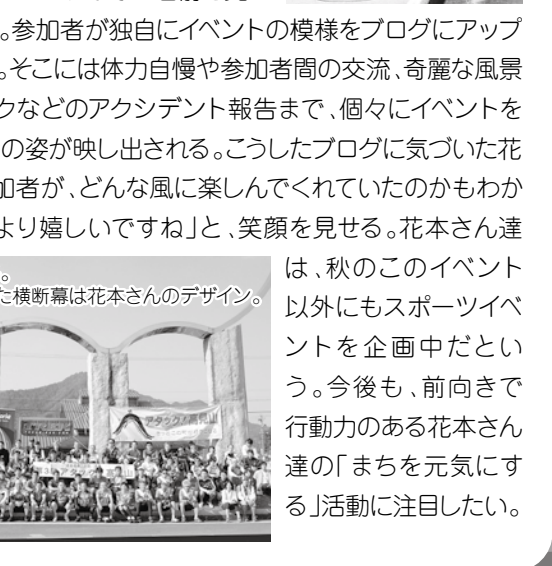
記念撮影の様子。大きく掲げられた横断幕は花本さんのデザイン。 (※1)エイドステーション: マラソンやトリアスロンなどで参加者のために設けられる休憩所。水分補給、エネルギー補給のための水やスポーツドリンク、簡単な食べ物などが用意されている。

発行... 松阪市市民活動センター 〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F 開館 月曜~土曜日/10:00~22:00 TEL 0598-25-3801 予約専用 0598-26-0108 FAX 0598-25-3803 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

事業を継続するために広報活動は不可欠だ。花本さんは広報力アップのため、当センターのスタッフが講師を務めるチラシ講座を受講した。この講座で刺激を受け、センター登録団体となり、より一層情報の収集と発信に励んだ。また、同じ市民活動団体であるインディアンエレファント(※2 以下インエレ)主催のイベントにも参加し、アタック! 高見山のPRをするなど地道に広報活動を続けてきた。これがきっかけとなり、花本さん達とインエレの交流が生まれた。こうしたPR活動が実を結び、アタック! 高見山の運営には多くのボランティアが協力している。登山口のエネルギー補給のための食べ物やボランティアが用意したり、自転車コース上のエイドステーションでは、インエレメンバーが国際交流の一環として、ベトナムの人たちと共にボランティアを務めた。多くのボランティアの協力を得ることが出来たのは、地道な広報活動の成果だろう。また、異分野の市民活動団体同士が理解を深め、協力しあうことで互いの活動の幅は広がりを見せた。「連携し、広がっていく」これはまさに市民活動のお手本のような事例といえるだろう。

(※2)インディアンエレファント: 国際交流を目的とした市民活動団体(本紙No.10に登場)自主イベントで筆記用具などを集め、自らの手でアジアの貧困地域に暮らす子ども達の元へ届けたい。

モチベーションを維持することも活動継続するために必要な要素だろう。中でも参加者の喜ぶ顔や、感謝の言葉は何よりの原動力となる。参加者からは「アットホームな感じで楽しかった」、「来年また来ます!」といったアンケート結果も寄せられている。また、インターネットで「アタック! 高見山」と検索すると多くのサイトでその名前を見ることができる。参加者が独自にイベントの様態をブログにアップしているのだ。そこには体力自慢や参加者同士の交流、綺麗な風景写真や、パンクなどのアクシデント報告まで、個々にイベントを楽しむ参加者の姿が映し出される。こうしたブログに気づいた花本さんは「参加者が、どんな風楽しんでくれたのかもわかりますし、何より嬉しいですね」と、笑顔を見せる。花本さん達は、秋のこのイベント以外にもスポーツイベントを企画中だという。今後も、前向きで行動力のある花本さん達の「まちを元気にする」活動に注目したい。



事業報告 お祭りでイベントで 市民活動センターのPR活動三連発!

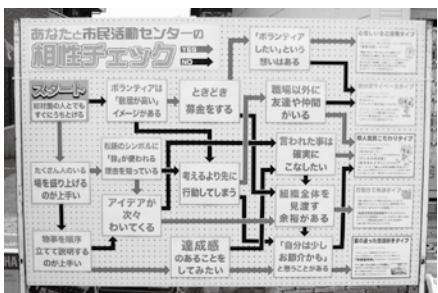
PR その CSR・市民活動PRブース in 氏郷まつり

11月3日(月・祝)、秋雨がばらつくスタートにも関わらず、今年の「氏郷まつり」は例年以上の大賑わいとなりました。この日は、当センターが「市民活動」を、企業2社が「企業の社会貢献活動(CSR)」をPRしました。関係者の皆様、お疲れさまでした。



今年も手配りしました。この光景も板についてきたでしょ?

【市民活動センター】
当センターのブースでは“市民活動センターとの相性チェックパネル”や“NPOってナニ?”などのパネル展示の他、各種事業のチラシを手配りするなど、行き交う人にはりきってPRしました。



このパネルはセンター内に常時展示しておりますので→センターにお越しの際は是非ご覧くださいね。



地元企業の社会貢献活動に興味津々。

【シャープ(株) 三重工場】
氏郷まつり出店はもはや恒例!?! 毎年、見やすさや展示方法がバージョンアップされる「シャープ(株)三重工場」の社会貢献PRブース。地元企業の環境への取組みに、来場者は興味津々でした。

※「社会貢献レポート」はセンターラウンジの書籍の森でもご覧いただけます。



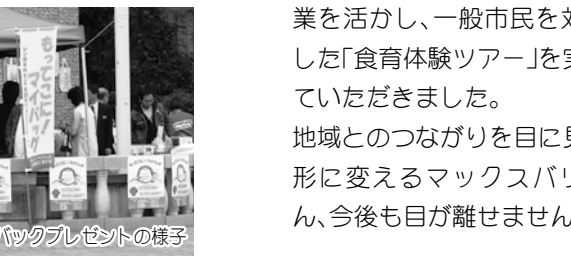
お祭り開催直前のブースで、環境社会貢献担当の皆さん。

【マックスバリュ中部(株)】
もう1社は、昨年「環境社会貢献担当」部署を新設された「マックスバリュ中部」の社会貢献PRブース。まつりでは、レジ袋有料化に対応し、「手づくりマイバックプレゼント」を実施。老若男女が楽しみながらエコ活動への関心を高める機会を作っていました。

これが緑となり... マックスバリュ中部(株)エコイベントに出展

商店街連合会主催のエコイベントに出展。これは当センターが橋渡しをいたしました。楽しい交流の様子が伝わり、私たちが暖かい気持ちになりました。

マックスバリュ 環境・社会貢献担当 出口さんからのコメント
「イベント参加者から(マックスバリュの)本社に『すごく楽しかったのでもた参加したい』とのお声を頂きました」



手づくりマイバックプレゼントの様子

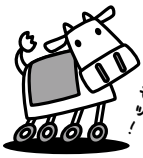
センター長の独り言
NPO法が施行され10年。10年後は、今以上に市民活動が世の中の役に立っていればいいなあと心から思います。

PR その 三重中京大学祭にPRブースを出展

11月9日(日)、三重中京大学祭に松阪市民活動センターのPRブースを出展しました。8月の鈴の音市には、当センターが三重中京大学の学生ブースを提供しましたが、今回は逆に招待していただき形となりました。メインステージ近くに設営された当センターのブースでは、「あなたと市民活動センターの相性チェック」パネルを中心に、事業PRなども行いました。行き交う人々も興味深く当センターとの相性をチェックされていました。

三重中京大学は、日本経済新聞社が今年8月に実施した「第3回大学の地域貢献度調査」で総合全国11位(前年度99位)、私立大学では3位(同35位)にランクされています。また、経済・経営・商業系大学では2位(同6位)、東海地区では1位(同15位)でした。ランキングは前年度より大きくジャンプアップしており、現在、地域貢献注目度ナンバー1の大学です。毎年多くの地域の方々、この大学祭に来場されるということもうなずけます。

この大学の教育方針は開学当時(1982年=松阪大学)から「地域と共創」だとお伺いしています。行政や企業、団体との相互協力をはじめ、地域住民を対象にした公開講座、講演会など様々な地域貢献に取り組んでいることから、当センターとの協働も自然な流れだと感じました。今後も三重中京大学と市民活動センターのコラボに注目してくださいね。



皆さん、センターとの相性はどうでしたか?



この会場でもいろいろ手配りで事業のPR。

PR その みえボランティアフェスティバル2008でPR

11月15日(土)、嬉野ふるさと会館で開催された「みえボランティアフェスティバル2008〜であい・ふれあい・ささえあい〜chikiの愛」に、PRブースを出展しました。このイベントは毎年、三重県社会福祉協議会が中心となる実行委員会主催で開催しており、今年は松阪市が会場となりました。

当センターのブースでは各種PRパネルの展示、本紙AROMAや各種チラシの配布などの他、スピードガンのミニゲームも実施しました。これはゲームの参加料が市民活動やボランティアの活動資金等につながるという「寄付の形」を提案するもので、運営には三重中京大学ボランティア部の学生2人が協力してくれました。

また、この日行なわれたパネルディスカッションにはセンター長がパネリストとして参加しました。「ボランティア活動が生んだchiki(愛)〜大切なのはくであい・ふれあい・ささえあい〜」というテーマに、中間支援の立場から、今後のボランティアに求められることなど意見を述べました。当センターは、今後もこうしたイベントに参画し、ボランティアや市民活動への理解を深めてもらえるよう積極的にPRしていく考えです。



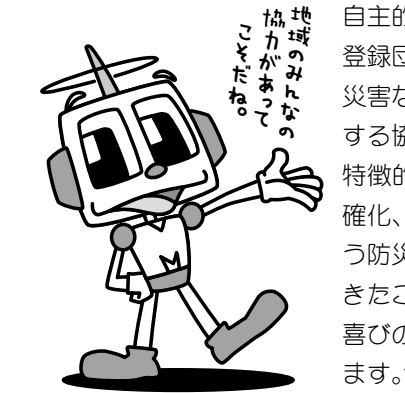
スピードガンのミニゲームの様子。三重中京大ボランティア部のお二人、寒い中がソッドにありがとう!



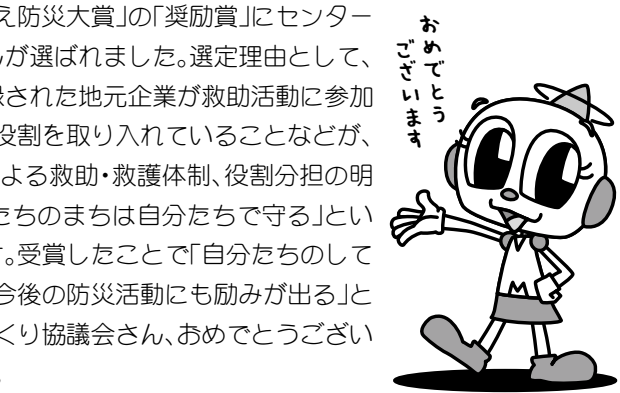
パネルディスカッションの様子。

松阪市朝見まちづくり協議会 防災部会さんが みえの防災大賞「奨励賞」を受賞!

自主的な防災活動を行なう団体を表彰する「みえ防災大賞」の「奨励賞」にセンター登録団体の「松阪市朝見まちづくり協議会」さんが選ばれました。選定理由として、災害などの緊急時「災害時協力企業」として登録された地元企業が救助活動に参加する協力体制が整っていることや、子ども達の役割を取り入れていることなどが、特徴的な取組みとして評価されました。住民による救助・救護体制、役割分担の明確化、情報の共有など地域が一体となり「自分たちのまちは自分たちで守る」という防災意識の高さが結果として現れたようです。受賞したことで「自分たちのしてきたことは正しかったと自信がついた」また、「今後の防災活動にも励みが出る」と喜びのコメントをいただきました。朝見まちづくり協議会さん、おめでとうございます。今後のより一層の活躍に期待しています。



地域の防災活動に協力がある松阪市朝見まちづくり協議会さん



松阪市朝見まちづくり協議会さん

ネクストドア NEXT DOOR 講座速報!

松阪市主催のネクストドア、1月以降に始まる3つの無料講座を速報でご紹介します。お申込みはお早めどうぞ。ご参加お待ちしております。

～初心者限定～
オリジナル紙芝居を創ろう! 体験講習

絵が苦手な人でも簡単に創れます。福祉、環境、防災等お子様に何かを伝えたい方に最適!

【とき】【描く】1/31(土) 13:00~17:00
【語る】2/5(木) 19:00~21:00

講師 小暮 都さん (紙芝居屋ぐれっち)

料金 無料

■各講座共通のご案内

【会場】松阪駅前ベルタウン2階の「ブンカの交流館」

【締切】各講座の実施日(または初日)の1週間前。(定員になり次第締切ります。お早めどうぞ)

【詳細】お申込み後の「受付完了通知」でご案内します。

■メールマガジンの登録

上記の掲載以外にも新たな講座がドンドン増えます。新講座のご案内は、メールマガジンでお届けします。メールマガジンの登録は、<http://www.m-bridge.jp/nextdoor/> で、受付中です。

松阪市広報の1月号にも掲載されていますので、そちらもご覧ください。これから決定する新講座にもご期待ください!

会議方 UP!! 講演会

会議の達人が明かす
～会議上達の裏技とコツ～

良い会議が仲間の力を引き出します。趣味サークル、まちづくり活動団体などにオススメ!

【とき】1月29日(木) 19:00~20:30

講師 釘山健一さん (『会議を楽しくする黄金のコツ26』著者)

料金 無料

会議方 UP!! 講演会

出会い応援!
前向きコミュニケーション術

人と接する心構えやトークのコツ等。学びを活かす地域活動なども計画中。

【とき】【男性版】1月24日(土) 10:30~12:00
【女性版】1月24日(土) 13:30~15:00

講師 山場ヤスヒロさん (作家・ビジネスコーチ)

対象 20歳代~30歳代の未婚の男女 料金 無料

me no npo! NPO

今回のNPO法人ひとくちメモ「ひとくちmemonpo!!」は「寄付」についてです。寄付金は、市民活動団体を運営していく上で、とても重要な資金のひとつです。団体の活動は、誰か(何か)を支える活動であり、その活動に対して一般の市民より資金面での支援を受けるということは、共に支え合える素晴らしい構図です。しかし、少し日常生活を振り返ってみてください。これまでは、何か特別なことや機会がなければ「寄付」という行為が遠ざかっていませんか? 日本では「寄付文化は育たない」と言われてきました。しかし、近年頻繁に起こる自然災害などでは、被災地等に対してその地域以外の方が支援をするといったことが一般的になってきています。また、最近ではスーパーのレシートを団体に投票するといった寄付の方法が行われるようになってきています。市民活動団体は、さまざまな場面で社会的に何らかの寄与をしている団体です。もし、あなたがどこかの団体がやっている活動に対して賛同されましたら、ぜひその団体に寄付をしてみてください。そのことで、その団体はより強い団体となっていくことでしょう。そして、この街も未来ある街へと変わっていくはずですよ。

気分も新たに! NPO川柳 イラスト

さて、前回お休みを頂いた「NPO川柳」がバワーアップして帰ってきました。その名も「NPO川柳+(プラス)」。いったい何がプラスなのかと言いますと... いままでの川柳に携帯で撮った「写真」をプラスするのです! 皆さんからの楽しい作品お待ちしております!

※写真の画像数はできるだけ大きくしていただくね。

千里の道も一歩から

当センタースタッフの作品として上げてみました。こんな感じの句と写真を掲載していきます。皆さんからの作品をお待ちしています。

【募集内容】「NPO」、「ボランティア」、「市民活動」に関する川柳と、携帯で撮影した写真をお送りください。どなたでもご応募できますよ。【応募方法】件名に「NPO川柳」とご記入の上、メールで送信ください。①句(未発表作品、複数応募可) ②句にまつわる写真(携帯で撮影したもの) ③氏名(雅号、筆名可) ④住所、電話番号【宛先】katsudou@macvtv.ne.jp【締切】平成21年1月31日 必着【発表】次号の「AROMA」と市民活動センターホームページにて。賞は何もございませんが、おもしろい川柳を楽しく交流しましょう!

※作品の著作権並びに作品に発生するすべての権利は松阪市民活動センターに帰属するものといたします。※応募多数の場合はすべてを掲載できない場合があります。予めご了承ください。

負けじと副センター長も独り言
12年に一度の大幸運期があと1ヶ月足らずで終わってしまう。無事これ馬馬なかな?